

大分県

届出事業所からの「水域への人に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成28年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大分市	468,698	砒素及びその無機化合物 120,000	セレン及びその化合物 81,000	カドミウム及びその化合物 62,700
2	別府市	170,475	砒素及びその無機化合物 150,020	ほう素化合物 15,006	ふっ化水素及びその水溶性塩 4,305
3	日田市	127,743	EPN 51,816	ふっ化水素及びその水溶性塩 3,169	チウラムまたはチラム 3,111
4	佐伯市	64,501	EPN 42,568	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 5,544	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 2,200
5	中津市	33,806	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル 31,500	EPN 697	スチレン 370
6	津久見市	28,268	EPN 10,880	カドミウム及びその化合物 2,112	ふっ化水素及びその水溶性塩 832
7	臼杵市	26,491	EPN 17,493	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 1,600	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 1,029
8	速見郡日出町	19,777	EPN 13,770	6価クロム化合物 820	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 810
9	杵築市	13,159	EPN 5,933	水銀及びその化合物 400	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 400